

太陽のてがみ

てがみには、住所・氏名・年齢・職業を記入してください。（広報掲載時に氏名は載りません。）なお、ひぼう・中傷や営利を目的とする内容は掲載しません。

地域おこし協力隊員や 地域活性化支援員の職種、 勤務実態は？



60代・男性

以前より「地域おこし協力隊員」

や「地域活性化支援員」など、本町に採用された職員が、広報紙や新聞報道などで紹介されています。

今年度は、さまざまな分野の職員が例年よりも多く採用されていることと思います。

彼らの経歴や担当業務などは、広

報紙などでおおよそ理解はできませんが、採用後の業務実態や勤務実績、給与等の財源、採用期間などは知る由もありません。広報紙に掲載されている退任時のあいさつで、どのような仕事をどれくらいの期間していたのかが、やっと分かる程度です。

そこで、全国各地から本町に赴任し、町や町民のために尽力されている「地域おこし協力隊員」と「地域活性化支援員」との名称の違いや、どの分野での程度採用され、どこでどのような業務を担っているのかわかりたいと思います。

また、「広報しらぬか」では、地域おこし協力隊や久遠塾の取り組みなどが紹介されていますが、それ以外の方々も含めて、定期的に彼らの頑張りを町民に周知していただけないでしょうか。

お答えします

町では、町内外から専門的な知識や技術のある方、意欲のある方などを積極的に誘致し、農業、水産業への従事、教育支援などの活動をしていただいています。

「地域おこし協力隊員」と「地域

活性化支援員」の名称の違いについては、都市地域（政令指定都市）から町に住民票を異動して活動いただいている方を「地域おこし協力隊員」として、地域おこし協力隊員の要件に該当しない方を「地域活性化支援員」として任用しています。

これらの活動は、国が推し進めている制度を活用していることから、その活動経費や人件費は国からの交付税で財源が措置されています。

各々の業務内容や採用期間については、次ページに掲載していますので、ご覧ください。

また、地域おこし協力隊員や外国語指導助手（ALT）、スポーツ国際交流員（SEA）などが着任した際は「広報しらぬか」にて町民の皆さんへ周知していますが、そのほかにも空き家バンクや農業支援、ホタテの増養殖事業の取り組みなどを通じて、地域おこし協力隊員や地域活性化支援員の皆さんを紹介してきました。

今後も、情操教育の取り組みやバドミントン指導の様子、さらには幼児教育や放課後学習サポーターの様子も紹介していきたいと考えておりますので、ご理解をお願いします。

〈企画財政課〉

外国語指導助手ジャクリーンさん着任



「ジャッキー先生と呼んでください」とジャクリーンさん

7月25日、アメリカから外国語指導助手（ALT）のケチャム・ジャクリーン・クレアさん（22歳）が着任しました。主に茶路小中学校で英語の授業を補助します。

ジャクリーンさんは、アメリカインディアナ州の出身で、パデュー大学卒。高校の先生が日本人だったことから、日本語に興味を持ちました。

ジャクリーンさんは「子どもたちに米国の文化を紹介したい」「日本語を上手に話せるようになりたい」と話していました。